

当時の思い出

溝口 ななみ (旧姓 森) (平成13年度卒業生)

私の中学校生活の中で思い出に残っている事は、部活動です。バスケットボール部に所属し、毎日練習に励んでいました。先生から指導を頂き、一生懸命取り組む中で、“できない”という自分自身に向き合い、1つずつできるようになっていく達成感を味わうことができました。

悔しい思いを経験した、新人戦市大会。チームで、地区大会出場という目標を掲げ、遠征や練習試合等、気持ちを1つにし取り組みました。頭ではわかっていた、“周りの人に支えられている”ということ。当時はあまり実感はありませんでしたが、社会に出て、コーチをする機会があり、保護者の方や、先生、仲間、多くの人に支えてもらっていた事を改めて実感することができました。

体力的にも、精神的にも、私を成長させてくれた、バスケットボール。ひたむきに取り組み、努力をした分だけ上手くなること、“出来る”という実感は、自分への自信に繋がるということを経験することが出来ました。

恩師のたより

「OH MY SOLDIER」「IN TERRA PAX」
「IMAGINE」

田中 富浩 (平成13年度3年学年主任)

やたらと英語ばかりが並んでます。すべては2001年9月11日に起きたあの事件が、はじまりです。アメリカで起きた同時多発テロ事件です。ニューヨークの世界貿易センタービルに突入した旅客機は、まるで映画の1シーンを見ているかのような衝撃的なものでした。

この事件を契機に、那加中から「平和」「生命」「愛」「夢」を世界に向けて発信しようと学年合唱に力を入れました。「ゴメンナサイ オカアサン…」「地球に愛を 僕らに夢を…」今でも迫力ある合唱の様子が蘇ってきます。

IMAGINEは学年通信のタイトルでしたが、受験シーズンになると「IMA 神社」を3年生の昇降口に設置しました。3年生の誰かが受験を迎える日には、金色に輝く扉が開帳され、登校した生徒は、真剣に仲間の合格を祈願しました。自分や仲間の夢の実現に向けて精一杯努力する皆さんの姿も金色に輝いていました。私の教員人生の中で、最も充実していた至福の時でした。



当時の思い出

佐々木 優作 (平成14年度卒業生)

このたび是那加中学校創立70周年、誠におめでとうございます。

在学当時は、樺の並木を横目に、ランニングロードと呼ばれるグラウンド外周をよく走った思い出があります。

部活動は野球部に所属し、監督コーチの指導をいただきながら、日々の練習に打ち込みました。市大会で勝ち進む成績こそ残せませんでした。日頃から練習を真面目に取り組み、そして継続することの大切さを何より学びました。

3年次には、各クラスのオリジナルTシャツを作りました。赤、黄、青、緑、白の5色のいずれか1色をクラスカラーとして、体育祭では各クラスのオリジナルTシャツに袖を通し、クラス一丸となって競技に臨みました。大縄跳びの競技では縄を回す者と跳ぶ者達がお互いを思い合いながら、一回でも多く跳ぼうと汗を流し、繰り返し練習を重ねました。

当時の3年間を通じて仲間同士が切磋琢磨したことで、良き思い出を作ることができたものと感じています。

今後も、伝統多き那加中学校が益々ご発展していかれますことを心より祈念いたします。

恩師のたより

「HONESTY」
それぞれの輝き

岩見 光洋 (平成14年度3年5組担任)

高根校長先生、柳川教頭先生、和合教務主任そして、田中学年主任に見守られ、先生も生徒も明るくのびのびとそしてたくさんエネルギーを放っていたこの頃。

すぐに思い出すのは、白石島への修学旅行。「HONESTY」をデザインしたおそろいのTシャツを着て、海辺での運動会や花火で盛り上がりました。体育祭ではソーラン節を踊り、クラス全員が一行につながってムカデ競走に取り組みました。そして学年合唱「神は天の栄え語り」、略して「神天」。歌うのも指揮を振るのも伴奏するのも難しく、何度も何度も練習を重ね、CD録音に臨んだことを覚えています。それは聞く者が圧倒されるほどの合唱でした。

未熟だったあの頃の自分の姿と共に生徒たちの笑顔が少しも色褪せずに甦ってきます。この思い出深き那加中学校の今後の益々の発展を祈念しています。

